



卒業証書・学位記授与式の準備の様子（3 ページに関連記事）

目次

私の ICT 遍歴（所長 大谷英雄）	2
令和 4 年 9 月卒業証書・学位記授与式	3
令和 4 年度第 2 学期入学者の集い	4
令和 4 年度第 2 学期「放送大学における勉強の仕方」講習会	6
武道必修化の新たな展開（客員教授 木村昌彦）	7
令和 4 年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧	8
K-サポートより	9
学生サークルからのお知らせ	10
神奈川学習センターからのお知らせ	12



私の ICT 遍歴

放送大学神奈川学習センター
所長
大谷英雄

s ~ x s ½ { z t v ² á y i Ü
 ý ICTÿ · ~ Ü | [{ s ~ w1 ù x ICT
 ~ P } \ t { t t v o ° B s v 2
 } t B { p ù | ² S w1 ö { ú
 w 1978 { ¹ N® Uq { ñ ½³ | ~
 u ¼ Ü ± v t » 2- p ú Ü ½ ü ü ü ~ w1
 ^ - ~ ½ õ ø { x ³ y z 1 ñ ½³ ÷
 ° ý ° wv ~ { y x t s ² ~ p s 2 ù
 © ~ | Ä ý { b ^ wv t ~ w y p { ñ ½
 ³ ² v ô é { ÷ ~ s v t s 2 p x
 ~ · · B { l x ö ü ö | TV ² ü { z s
 vt » , v z f i w ² r ° 1 ³ ö ü ç | -
 { z ° t t r s 2
 1982 { NEC { ¹ PC-9801 x t v ñ ½
 ³ | n | w 2 ø o | s x » , v { z ° 1
 1983 ~ Ü ~ ø o ü ÷ ½ õ ø x
 { v ù ¹ ø » ü x z s 2 ù | ü ° { ² i
 Å w ~ | 1983 w1 | Ä ý { PC-9801
 r s | 1 ø o ü ÷ ½ õ ø ~ p z 1
 ç ² p _ { ~ z } w z ø o ü ÷ ½
 õ ø ² BASIC w ú Ü w1 } ¼ { ¹ ç ÷ {
 x ° ú { s 2
 1983 { p y ® ~ õ ± ý ³ ² ~ u ¼
 v ý ý { ³ ö ü ç | ú ° ç ° , v { z s 2
 ñ ½³ ~ g y ³ y ³ U N w1 ´ | v
 1995 { Windows95 | ~ u ¼ v o | ö z
 Windows f i x z ° 1 Word ´ Excel | ° ö
 ³ ¹ ~ B Ö x z s v t s 2
 i ~ ý w 1 1969 { ² » y x { g
 y » ¹ ü ñ ü ³ ö ü ç x | Ä · ² t
 p ARPANET x t v ý ó ø ü ç | w } v t
 » 2 s ¼ x w { 1 1983 { ¹ | Ä · z y

w´ ç ü ý ó ø | B | ° Ü ± 2 ù 1986
 { ² » ~ ý ³ | Ä b { [p w | 1
 ARPANET ~ P t ² ~ ~ 1´ ç ü ý ó
 ø ² ÷ » _ z { s 2 } ~ | Ä b ~ ø o
 - } _ { ~ ¼ v ø o IBM ~ ñ ½³ ² ø o
 B ù { » ó ø ² ó ÷ w s x ² } t ú { r » 2
 ø o w 1984 { JUNET x t v ý ó
 ø ü ç | Ü w1 ~ ý | y
 ý ~ x | ¼ 2
 1990 { ARPANET Ä w1 W } ´
 ç ü ý ó ø x ù l w 2 ù ü ú ü , ~ B }
 w r » WWW | t Ü ± ¹ ¼ ~ | 1991
 w1 1995 { Windows95 x x ² { WWW
 ² } [{ è { w } » Internet Explorer | ~
 è u ¼ v n ~ p | } [{ ´ ç ü ý ó ø ²
 x » } | w } 2 ø o { z q » ´ ç ü ý
 ó ø ~ Ü ~ ° 1984 ~ , v w1 ù | IHI
 { ú w 1983 i x x p FAX ´
 ö ó ç ¹ ~ f i w r s 2 1987 { W
 Ü | Ä b ý ý w Ü ý \ | Ä b ý { ú s | 1
 ü ² ü ¹ ~ ÷ | z t ~ w1 ü ²
 x » , v { z s ~ 1989 { j } ý ³
 { ú s v i B ~ s x p x } v 2 s ~ | Ä b f i
 { Cray X-MP x t v ¹ ü ñ ü ³ ö ü
 ç ² s · ý ü · ² ´ s v t 2 ´
 ç ü ý ó ø | N® ~ p w ² x » , v { z s
 ~ 1992 i B x u ¼ v t » 2
 Windows x ´ ç ü ý ó ø ~ f i { z s v
 { ¹ Ü W x ü Ö W1 ½ õ ø ~ t B k ~
 } Ö x t s s x | ý t v t » p q w ö z Y
 W z z s x } s v t » 2 ë p x ² { ±
 » ñ ½³ } } ~ ù { x s v Windows i _
 ~ ñ ½³ ~ p n ~ ý | } w t f i p s 2
 _ { ¹ ý q v t » x Í ~ ñ ½³ } w v
 ´ ç ü ý ó ø | ý { t ´ y z s v t » 2
 _ ~ p ú ² U q ~ ² ~ { ¹ N® U q { t B
 k } Ö u ¼ v t » ~ w1 Ç y » s x z ICT
 { ñ , w v t s v w t x } v 2

令和 4 年 9 月卒業証書・学位記授与式

9 月 25 日（日）、令和 4 年 9 月卒業証書・学位記授与式が神奈川学習センターにおいて挙行されました。昨年度は新型コロナウイルスの影響により中止となったため、2 年ぶりの実施となりました。

神奈川学習センターの卒業生は 157 名で、そのうち 55 名が出席されました。密を避ける観点から午前午後の 2 回に分けて開催されました。

大谷所長の式辞

台風の前も通り過ぎて秋晴れとなった今日のおき日にご卒業される 157 名の皆さま、誠におめでとうございます。



コロナ禍の中にあっても学習を継続する皆さまの努力に対して敬意を表するものであります。

大学での学びは、卒業研究がよい例ですが、自ら問題を設定し、自らその問題を解決する方法を身につけることが目的とされています。

能動的に学ぶ力や、研究を進めてゆく力があることを放送大学に認められたこととなります。これで終わりとすることなく、さらに学を深め続けていただけることに期待しています。

ヘンリー・フォードの言葉に、「20 歳だろうが 80 歳だろうが学ぶことをやめてしまったものは老人である。学び続ける者は若い、人生にとって一番大切なことは頭を若く保つことだ」とあり、また、歌手のアーサー・キットは「私は常に学んでいる、墓石が私の卒業証書だ」とあります。このような心意気を持って学び続けていただければ楽しい人生を送ることができると思います。

これからの皆さまのご活躍を心よりお祈りして私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は卒業おめでとうございます。

金田同窓会長の祝辞

今回コロナ禍で、卒業式ができるか否か気をもんでまいりました。関係者の努力で、式典開催にこぎつけました。さらに、所長自ら証書を手渡しで贈られると聞きました。皆さんの一生の思い出になると思います。



香川同窓会の例をお話ししたいと思います。

室崎若子さんは、2020 年 1 学期に 14 年かけて卒業されました。卒業式当日テレビや新聞の取材がありました。

目に障がいがあり、盲導犬に導かれてお仕事や学習を継続し、小豆島から高松市に 10 年あまり勤務されていました。自分のことは自分でできるようにと丁寧に教育を受けてきた。周りの方の支えも大きかった。何年かかっても良い、自分の足取りで着実に前に進んでいたことに敬意を表します。

人間やろうと思えばなんでもできる力を本来持っているようですね。私は、皆さまのさまざまな生き方を学ばせてもらいそのエネルギーとしています。

今日は、ゴールであると同時に次のスタートラインに立ったと言えます。一息入れ、次の目標に向け一歩踏み出して行きましょう。

浅見真年客員教授の祝辞

困難がある中、単位を修得されて、卒業される皆さまに敬意を表します。



私も、大学での生活は、楽しかった。そのときの友人との関わりは現在でも続いています。放送大学で知り合いになった方や、同窓会を通じて放送大学とこれからも繋がりをもって行くの

がよいと思います。

私の大学の恩師は、教え子たちにいくつもの言葉を残しています。その中に、「無尽蔵」という言葉があります。研究をしているとこれ以上やることが無いと思ってしまいますが、研究のネタなどは、無尽蔵にそこら辺に転がっています。

無尽蔵のものは、漫然としていても、見つかりません。新しい何かを見つけるためには、見つけようという心が必要です。そういう心を持ってこれからも新しいことを見つけ進まれることを願っています。

白水紀子客員教授の祝辞

さまざまな努力をなされ、さまざまな困難を乗り越えてこの日に至ったこと心よりお喜び申し上げます。

これまで世界では、戦争・自然災害・感染症がずっと続いていました。けれど、コロナ禍で、日本中で家族や個人にその影響が及んだのは、未曾有のことです。

私たちもこれまでの生活ができないようになって、人生観の修正を迫られています。私たちは、私たちの知恵を集めて考えていかなければなりません。

大学での学びは、山積みされた課題を引き受けて、答えを模索する力を養うことと思っています。今こそ、放送大学での学びを社会に還元し自分の人生に生かして、この時代を乗り越えてほしいと思います。

式の最後に、所長から卒業生一人一人に学位記が手渡されました。



令和4年度第2学期入学者の集い

10月9日(日)、令和4年度第2学期入学者の集いが開催されました。前回に引き続きZoomを利用したオンラインでの開催となりました。式典のほか、新入生オリエンテーション、K-サポートや学生サークルの説明が行われました。ここでは式典での式辞等を紹介いたします。

大谷所長の式辞

コロナ禍の困難な状況にあって、放送大学での学びを志して入学された、皆さんに敬意を表します。



放送大学は放送授業が中心で孤独な学習になりがちですが、神奈川学習センターには約5,000人の学生が所属しています。見えないことではありますが、これだけ多くの方が一緒に学んでいるのだと思っていただければ幸いです。

学習センターは、他の学生と繋がる場を提供する役割も担っています。面接授業やゼミの実施、学生のサークル活動、学生同士で交流する機会が用意されています。まだまだコロナ禍で、対面での活動は制限されていますが、徐々に交流の場としての学習センターが復活しているところです。感染状況が落ち着いて、皆さんがより自由に交流の機会が持てるようにな

ることを祈っています。

学士の学位取得を目指す方、資格を取得して仕事に生かしたい方、興味のある分野を学びたい方など多様な学生がいます。放送大学は、学年ごとに決められたスケジュールで学びを進めて行くのではなく、自分で自分の学びのスケジュールを決めて、自らスケジュール管理し、学びを進めて行く仕組みになっている特徴があります。

今年度からは、期末の単位認定試験が、Web 単位認定試験の方式になりました。システム WAKABA で Web 単位認定試験の体験版が体験できるので、早めに体験してください。また、大学生生活の基盤として、システム WAKABA を使いこなせるようになってもらいたいと思います。

自由に学べるからこそ自分できちんと時間管理をすることが大事になります。皆さんが、学びたいという気持ちを持ち続けることに期待しています。教職員一同、皆さまの学びをサポートしたいと思っています。

金田同窓会長の祝辞

ご入学おめでとうございます。同窓会一同大歓迎いたします。



人生 100 年時代と呼ばれるようになりましたが、放送大学は、リカレント教育～学びなおしの教育に力を注いでいます。コロナ禍は、学びなおしのチャンスでもあります。放送大学のキャッチフレーズに「学びたいと思ったら、いつだって、学生になればいい」とありますが、地域の方々や友人に放送大学の入学をぜひお勧めいただきたいと思います。

今年度から Web 単位認定試験に変わりましたが、約 97%の方が Web による試験を受験したそうです。パソコン操作が不得手な方は、学習センターで、(パソコンを利用して)試験を受けることもできます。

学習を続けるには、多くの困難があります。挫折しない方法はあるのでしょうか？ それは仲間を作ること、仲間に入ることです。神奈川学習センターはサークル活動が盛んです。仲間と一緒に、無限に遠く見えるゴールへ楽しく足を進めることができます。

ぜひサークルや、ゼミに入ることをお勧めします。そして、卒業の暁には、生涯学習を実践する方に寄り添っている神奈川同窓会にぜひご入会ください。

植村博恭客員教授の挨拶

神奈川学習センターで客員教授を務めております。専門は経済学で、比較制度分析、マクロ経済分析、経済政策論



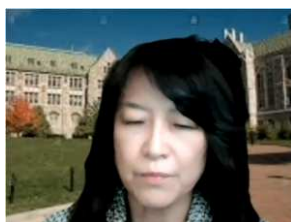
をやっております。11 月にはグローバル時代の経済政策の面接授業を担当します。

2 年間ゼミナールも担当しており、良い仲間ができました。私はコーディネーター役ですが、女性 2 名男性 2 名の様々な経歴を持った 50 代から 70 代の方々が活発に議論し、日本の経済と日本の社会保障の将来などについて学んでいます。神奈川学習センターは色々な学生が集まり互いにコミュニケーションを発展させて仲間を作って行くことができる素晴らしい場ですので、どうかそれを活用していただきたいと思います。

また、これまで英語で経済学を教えることを 20 年くらいやってきました。英語での発表や論文を書きたいという方がいらっしゃいましたら、できる限りサポートをさせていただきたいと思っています。この度はご入学おめでとうございます。

飯田深雪客員准教授の挨拶

皆さまご入学おめでとうございます。英語や異文化コミュニケーションを担当しております。



これまで神奈川学習センターで 10 年ほど英米児童文学などを読む授業を行ってきました。テーマとしては、社会の中のマイノリティーや異文化を背景に持つ人たちについて読みながら、自分の社会の中での多様性などに気づき、そのような人たちとどのように接したらよいか？などといったことをディスカッションするような授業をしてきました。

私は、アメリカの大学院で長く勉強したあと、日本に帰ってからは神奈川県立外語短期大学で教えておりました。神奈川県あるいは横浜市は、

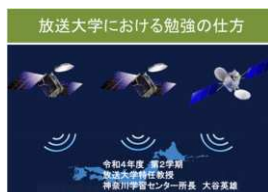
外国を体験した方や外国から来た方と接する機会が他の県よりとても多いと思います。ぜひ英語あるいは外国語に対するよい理解を身に付けていただきたいと思っております。

今年から英語のゼミを担当しており、女性 3 名男性 3 名で Zoom を使用してイギリス児童文学を読んでいます。ゼミの中で助け合ったり質問したりディスカッションしたり、あるいは今の社会での生活の中で共通点があるということもあり授業の後もお話をしたりして楽しく学んでいます。ゼミや授業を通して、仲間ができることはすばらしいと感じております。

今年の 12 月や来年の異文化コミュニケーションの授業で、イギリス児童文学を通して多文化に触れ楽しく授業を行って行きたいと思いますので、授業でお会いした際はどうぞよろしく願いいたします。

令和 4 年度第 2 学期「放送大学における勉強の仕方」講習会

10 月 15 日（土）、所長による「放送大学における勉強の仕方」講習会を、2022 年度第 2 学期入学の神奈川学習センター所属の学生を対象に、Zoom を利用したオンラインで開催しました。



講習会では、大谷所長が放送大学の学びには 2 つの柱があることを説明しました。

1 つめは、「必要な情報を自分で入手する力」です。システム WAKABA や学習センターのウェブサイトを使いこなすことはとても重要です。学習センター（電話や、窓口）に、質問して得られるのは、一部の情報にしかありません。パソコン等、インターネットを利用して情報を得る力は不可欠です。

2 つめは、「大学生としてのリテラシー」です。高校まではカリキュラム通りに学習すれば卒業

することができました。放送大学では自分で自由に履修科目を選ぶ一方で、卒業には修得単位で満たさなければならない基準（要件）がいくつかあります。

そして、単位取得の仕方、勉強の進め方、放送大学の利用方法などを説明されました。

講習会で使用した説明資料は以下の QR コードまたは URL からダウンロードすることができます。

https://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/news/upload/2022-2_benkyonoshikata.pdf





武道必修化の新たな展開

放送大学神奈川学習センター
客員教授
木村昌彦

õ w } u ¼ ÿ g - Ø w 1 T ñ
 ù ~ þ { , s þ ù | ² r ² þ g y ĩ î ù Û
 ~ O t ~ ÷ ÿ < ÷ Û , s =< } Û 1 v í
 Û 1 è ÿ Û =< s { U { v Û 1 þ g = ÿ
 { Ý u © u ¼ v n ú { { u ¼ ~ w 2 _ ² V
 B ~ þ ù ~ x s t w 1 _ ÿ ~ O t ~ ÷ ² £
 ~ x þ ù è ° { ö u ¼ 1 1 2 ~ g
 ² £ ~ x g - þ ù { ò x v 1 Û ñ ´ ¹ ý ü
 ô x ~ [ù z · ¿ ° ý | Ý u ¼ 1 , ° n ú
 Wu ¼ ~ w 2 o · Ø B { z t v 1 ÿ Ì y
 z ° þ ~ Û ñ Ø B x u z ° o i w _ ± v
 | ĩ y » þ ù x w v { u ¼ v t ~ y 2 w { w 1
 þ ù ~ x s t w 1 s | ÿ þ o ~ _ x ç W
 x ~ © è ² ý ± » » ù { ¹ 1 ø o þ o ~ o ·
 ~ x ý { ĩ ¼ » s x | w } » , v < ÷ · 1
 s · 1 þ ö 1 i k · 1 z ~ z 1 » · 1 \
 · 1] Ý ù ó ý 1 s · z y ² w v 1 s |
 ÿ þ o ~ _ x ç W { , ° N | ĩ ¼ » s x |
 w } » , v { y » s x = x t v ç | õ {
 è u ¼ ~ w 2

2019 w ~ y ÿ ö z o · ~ þ ~ B ý ö ó
 ÷ · | ÿ r ² x v t ~ y 2 w { w ÷ · ²
 ° o · Ø B 1 Ä ´ | ÿ z y ~ Ø B x
 u z ° 1 Q ´ j ~ ~ Ô ÿ { B x v _ i
 { ¹ ö { » ½ | ý r u ¼ v t z
 t ÿ ö | [w ~ y 2 ÿ g - Ø } ~ ÿ
 o ö z x ý { < Q ´ j ~ ~ Ô ÿ ² £
 ~ x v _ o Û ² x v g ~ r » g - = |
 n u ¼ v t ~ y 2 s ~ , v z ö ó ~ o w _
 i _ ² x ~ Û ñ ~ ¹ ü ° z ç ÿ ²
 x » x 1 _ t ° Û ñ Ø B | g ù w r » x
 x ¹ ¼ ~ y 2
 } s w ÿ ² ± v t » | Ä _ i { ¹ o
 i x ~ Û ñ ~ ¹ ü ° z ç ÿ ² ÷ s v
 t » ù { ¹ 1 _ t ° Û ñ Ø B ~ [ù z ñ
 } ² t » Û ñ ý Ú s ý 1 _ Û ² Û ± » Û ñ 1
 { z t v ÷ · ~ ÿ o ö z ñ } ² Û ñ þ ù x w
 v x ° ú ¼ ñ w ² ~ w v 1 n } ö { B ý
 w } » g - z , s g - h ² ó h y » s x
 ² þ ö x w v t ~ y 2

令和4年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧

神奈川学習センターのゼミは、所長、客員教員が主催する勉強会です。実施方法は、①「学習センターでの対面式」、②「Web 会議システム等オンライン」、③「①と②の併用式」があります。①の**学習センターでの対面式の場合**、本センターの教室を使用してのゼミは現在**教員を含めて10名以下**としております。ゼミの開講状況、実施方法については、**教員までご確認ください**。

●神奈川学習センター客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催予定日	連絡先
飯田 深雪 2021年度より募集開始	世界の多様性を学びながら育む英語コミュニケーション能力	英米児童文学を読みます。また、異文化についての読み物も読み、ディスカッションや英語での会話も行います。	毎月第2、第4土曜日 10:30~12:00	iidamcat9@gmail.com
植村 博恭	グローバル時代の社会と経済政策：生活者の視点から考える	本ゼミナールは、グローバル時代の社会と経済政策のあり方について学びます。特に、様々な身近な問題を毎日働き暮らしている生活者の視点で考えていきたいと思えます。 日本企業における働き方の改革、男女平等社会の実現、退職後の安心できる暮らし、個人資産の有効な管理と運用などを取り上げつつ、私たちひとりひとりの生活を支えてくれる経済政策のあり方はどのようなものか、勉強していきます。特に、若者、中堅世代、高齢者、女性、男性といった様々な世代の市民の観点からゼミを進めて行きたいと考えています。	毎月2回 金曜日 または 土曜日	huemura@sympphony.plala.or.jp
大谷 英雄 2021年度より募集開始	化学災害を知る	化学産業あるいは化学物質において発生する事故を防止し、災害を防ぐための一つの方法として過去に起こった事故について分析・検討し、その再発防止あるいは類似の事故の発生を防止するための情報を得ることが有益であるとされている。このゼミナールでは、過去の事故について一緒に考えてみたいと思う。	毎月第3火曜日 学生との調整により変更もあり	ohtani-hideo-hc@outlook.com
間嶋 隆一 新規開講	三浦半島の地層と化石を探る	三浦半島の地層と化石について研究紹介を行い、論文の紹介など行う。関連する地層の露頭や化石産地を訪れ、データの採取と解析を行う。 野外での活動は、城ヶ島、逗子から葉山の海岸、横須賀市浦郷町貝山緑地、横浜市栄区瀬上市民の森で行う。	講義室での毎月第1日曜日（予定） 野外での活動4回	majima-ryuichi-ym@ynu.ac.jp

●元客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催予定日	連絡先
上川 孝夫	上川ゼミ	経済を学ぶゼミです。金融を中心に、日本や世界の経済、経済史や経済思想など、幅広いテーマを取り上げます。コロナウイルスの感染拡大が続く場合、Zoomを活用したオンライン・ゼミの形で実施します。	毎月第3土曜日	kamikawa@ynu.ac.jp
高橋 邦年	英語基礎ゼミナール	毎回2.5時間（休憩10分）の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行なう。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。	原則毎月第2または第3土曜日	takahak18@gmail.com
杉田 正樹	哲学ゼミ	哲学カフェをやります。身近な問題をその場でお互いに出し合い、それについて話し合います。特別な準備や知識は不要です。	原則毎月第3土曜日	msugita@kanto-gakuin.ac.jp
茂木 一衛	茂木ゼミ	ヨーロッパの芸術的な音楽を中心に、表現や鑑賞などの活動を通して、音楽の楽しみ方や味わい方を学びます。 コロナウイルス蔓延で所内活動を控えるべき場合などはオンラインで行います。	原則として金曜日に月2回	kmoteki@nifty.com

K-サポートより

第 2 学期の新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。K-サポートは、K（＝神奈川学習センターや所属する学生）をサポート（＝支援）する学生や卒業生の組織です（「学習センター利用の手引き 2022」p.46 ご参照）。この第 2 学期より、学習センター内で「学習相談会」と「パソコン初心者塾」を開始しました。新入生も、第 1 学期以前から学習を継続されている皆さまも、ご参加になることができます。続く部分で、活動を担当するチームから紹介を行います。（K-サポート事務局）

◆ 学習相談チームから

新型コロナウイルス感染拡大により閉鎖された「学習相談会」を 2 学期から再開しました。「学習相談会」は孤独に陥りやすい通信制の大学生活に潤いを与え、学習活動を円滑に進める目的を果たす為 2008 年以来活動しています。相談員は放送大学大学院や学部を修了・卒業、相談業務に精通しています。2019 年には福富所長（当時）のご指導の下、「自律して生涯にわたり学習を続ける人材の育成に、学生あるいは卒業生の立場から（途中略）貢献する」ことを理念に定めました。

相談内容は下記のごとく、学習相談が中心になりますが雑談も歓迎です。ただしメンタルヘルスに関する相談についてはお断りしています。相談会は話し合いの中で気づきを得る場面でもあり有益のようです。

2019 年度の相談実績は、(件数ベース) 全 163 件。内容は、総合的なこと、学習の進め方、科目選択・単位の取り方、通信指導について、卒業論文・修士論文などでした。

今学期は 10 月 29 日（土）、11 月 19 日（土）に実施したほか、履修登録期間中の 2 月下旬にも実施予定です。皆さまのご来場お待ちしております。（学習相談チーム有志）

◆ パソコンサポートチームから

コロナ禍で中断していた「パソコン初心者塾」を第 2 学期から再開しました。パソコンの極初心者に対して放送大学生として必須となるネット配信授業の視聴、Web による通信指導の提出練習、Web による単位認定試験受験練習、Web による科目登録申請練習、Word、Excel、PowerPoint 操作等を支援します。受講生の自主性・主体性を期待しますので「塾参考書」を配布して、その範囲内で決められた日時（後述）で自由に学習を行ってもらいます。

受講料は発生しませんが、定員が先着順 10 名のため申込が必要となります。申込用紙はパンフレットと一緒に学習センター 1 階ホールに備え付けてありますので記入して、横の専用投函箱に入れてください。使用機器ですがノートパソコンかタブレットをお持ちの方はご持参することをお勧めします。お持ちでない方は学習センターのノートパソコンを借用できます。

初心者塾の開講は学習センター実習室で 10 月 29 日、11 月 8 日、15 日、12 月 1 日、1 月 28 日、2 月 14 日、21 日です。時間は原則 13:00～15:30 です。定員内で 1 回のみ参加、複数回の参加も自由です。受講生として、またサポーターとしてのご参加をお待ちしております。（パソコンサポートチームリーダー鈴木康年）



(10 月 29 日の学習相談会)



(10 月 29 日のパソコン初心者塾)

学生サークルからのお知らせ

※サークルの活動内容や加入等に関するお問い合わせは、下記の各サークルの連絡先にお問い合わせ下さい。神奈川学習センターではお答えすることができません。

現在、学習センターの利用制限等により、平常時と異なった活動になっています。現在の活動と平常時の活動が記載されていますので、ご注意ください。

○神奈川放友会

◆1985年神奈川学習センター開設と同時に創立。「共に学び、人間的交流を深め、奉仕によって社会とつながる」ことを理念として活動。在籍会員110名

◆22年度11月以降の活動予定

11月 1日研修「広重江戸百景を歩こう」

12月 古典芸能鑑賞「文楽」国立劇場
忘年会パーティー・パセラリゾーツ

2月 冬季例会・会員発表「ハーレーで日本1周」

3月 花見・卒業祝賀会

4月 鎌倉建長寺座禅会

◆ホームページ:<http://kanagawa-hoyukai.jp/>

◆お問い合わせ:真野憲助 mano.ken@nifty.com

○韓国語同好会

★目的 韓国語での日常会話を習得し、韓国放送通信大学日本学科との日韓文化交流を通して日韓相互の生活、歴史、文化への学びを深めることを目的としています。

★定例会 2回/月 ①第1土曜日、午前中の対面例会 11月は課外授業「大磯歴史散歩」高句麗からの渡来人を祀った“高来神社” 嶋立庵(俳句道場)、旧吉田茂邸など訪問。

②第3土曜日、10:00~12:00 自宅、Zoom(リモート)授業と11:00~12:00

Zoom 親睦会(国際交流を目的、会員以外の有志参加可です)

★問い合わせ 神奈川サークル協議会ホームページ <https://kcc-ouj.net/dantai/hanguo/> メールフォームへ

連絡先: ☎090-5797-9418 (村田)

○資格取得研究会

看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格は、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、ひと月に1回、土曜または日曜に開催。情報交換が中心。オンライン例会計画中。

★会費: ¥500(1年間)

★ホームページ… <http://shikaku.yumesora.net>

★お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

○人間学研究会

★「目的: 人間の本質的・実質的なあり方について、多面的視野から学習。会員の交流と親睦を図る」 会員66名(男性37女性29)

*月例会: 卒業研究・旅行経験等のテーマで発表

・日時: 12月17日(土)12:30、大岡地区センター
・会員発表・テーマ: メイド・イン・ジャパン

★会誌 せせらぎ33号を発行

★ウォーキング: 11月23日「金沢文庫運慶展とカフェ金澤園」

★お問い合わせ:

大和田克美 oowada-katsumi@u01.gate01.com

○うえるかむ Kanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

*例会は原則、毎月第2、第4水曜日。現在、Zoomを利用したオンライン開催

*外国人講師の英会話レッスン(10:00~11:30)

(参加費有料、初中級・上級の2クラスに分かれ、各45分)

*Group Study(13:30~15:30)

(入門・初級・中級・上級の4クラスに分かれ学生同士で学ぶ)

*10月以降状況によりオンライン・対面併用検討中

*年会費: 現在は無料(通常は年1,000円)

*ホームページ

<https://welcome-kanagawa.jimdofree.com>

*問い合わせ

金子 響(e-mail:kaneko-toyomu@outlook.jp)

○拡大かながわレク・サークル

★サークル活動: 放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」

★例会: 2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)

★ウォーキング: 2ヶ月に1回、「日光街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

★問合せ: 島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail bunsima829@gmail.com

○ダンスサークル (社交ダンス)

学習センターの方針によりコロナ禍での学内活動は休止中。不定期ですが使用可能な学外施設で練習しLINE等で連絡、近況報告等。

ダンスはスポーツ！人生 100 年時代に向けて健康増進、素敵な姿勢、ストレス解消に是非一緒に踊りましょう。未経験者大歓迎！

- ★神奈川学習センター第7講義室
- ★毎週火曜 14:00～16:00(第1,第3週は自主練習)
- ★会費 1500 円/月、年会費 1000 円
- ★ダンスパーティーで踊れるレベルへ練習(モダン、ラテン)
- ★連絡先 中村健 tarumakan0904n@gmail.com

○スペイン語研究会

★目的:西語日常会話習得と西語圏歴史・文化を学ぶ。★活動:月 2 回(第1・第3木曜日)。★会費:初級 月 1,000 円 中級 月 2,000 円★内容:ペルー人女性講師による日常会話習得、会員・ゲストスピーカーによる西語圏研究発表・講演。★その他:反省会等。★学習センター閉所中は、大岡・南地区センター利用。★連絡先:会長・肥後照雄・メールアドレス:1210271224@campus.ouj.ac.jp

○中国語学習会

日常会話の習得を目指して、中国人の先生とたのしく学びます。今は主に Zoom で、第 2・4 日曜日の午前 11 時から[発展クラス]と、午後 1 時 30 分から[基礎クラス]の 2 コース。どちらにも参加できます。そして 10 月からは、対面授業も頑張り始めました。初めての方も、それなりの方もたのしい仲間がいます。詳細は、下記までお問い合わせください。

elcondor@ra2.so-net.ne.jp :近藤または、
tomomama4213@docomo.ne.jp :細矢まで。

○神奈川合唱団

★合唱未経験者歓迎
★合唱を愛好する皆さんと一緒に音楽を通して学生生活をエンジョイするサークルです。現在 30 有余名の学生が合唱を楽しんでおります。
★2021 年度は、チャリティ・コンサート(神奈川公会堂)で<アニーローリー>,<心の瞳>等を歌いました。

★指導は、発声・歌唱を清水一成先生(プロのオペラ歌手)

ピアノ伴奏を新井ゆう子先生のご指導で練習に励んでおります。

☆場所:大岡地区センター 音楽室 2階
(放送大学神奈川 SC の斜め前のビル)

☆練習日:毎月 第 2・4 水曜日 18:30～20:30

☆連絡先:nobukishi0429@gmail.com

○歩・歩の会 (地球研)

目的:地球科学ゼミ(有馬ゼミ)を発展的解消し、結成されたサークルで、地球科学をベースに自然を学び「人新世(Anthropocene)」における地球環境危機について考え、SDGs に寄与していきたい。

活動:毎月一回程度

活動場所:三浦半島海岸、伊豆大島、丹沢山地、伊豆東部単成火山群の地質、地層の観察、各地の Geo Site 行脚。

☆ご興味のある方はご連絡ください。(代表:吉岡・中澤)

e-mail earth.hoho.kanagawa@gmail.com

神奈川同窓会だより

年末特別講演会のお知らせ

Zoom オンライン講演会

日時 12 月 17 日(土)13 時 30 分から 15 時 30 分
演題 地球外生命

—アストロバイオロジーで探る生命の起源と未来—

講師 小林憲正 横浜国立大学名誉教授

詳細のご案内は神奈川同窓会ホームページ
でお知らせいたします。

主催:神奈川同窓会同窓会

同窓会に対するお問い合わせ info@hatoh.net

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、筈崎、

三国(以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

中ノ園(学習センター事務局)

神奈川学習センターからのお知らせ

神奈川学習センターの施設利用について

視聴学習室等の事前予約を不要にするなど、施設の利用制限を緩和しました。新型コロナウイルスの感染拡大状況によって今後変更する可能性がありますので、学習センターの利用にあたっては事前に神奈川学習センターウェブサイトをご確認ください。

事前予約が不要	事務室窓口（各種証明書の発行、学生証の交付等）、予約図書の貸出・返却 視聴学習室・図書閲覧室の利用 実習室の利用（ウェブサイトで利用可能日を要確認）
事前予約が必要	入学・学習相談（電話または Zoom で実施）

公開講演会のご案内

下記の通り、客員教授を講師とするオンライン公開講演会を開催いたします。いずれもオンライン会議システム Zoom を利用して開催します。神奈川学習センターウェブサイトから申し込みが可能です。皆様のご参加をお待ちしております。

演題：メディアにおける犯罪の構築

—犯罪社会学入門として

講師：大庭 絵里 先生

放送大学神奈川学習センター客員教授
神奈川大学経営学部教授

日時：2023年1月28日（土）13:30-15:00

犯罪はメディアではどのように取り上げられているだろうか。人びとの犯罪観・逸脱観の基盤ともなるメディアにおける犯罪の表象を考察し、逸脱と統制への社会学的な学びへの入り口としたい。



演題：2023 夏の熱中症予防対策

～4月から備えること

講師：田中 英登 先生

放送大学神奈川学習センター客員教授
横浜国立大学教育学部教授

日時：2023年2月18日（土）13:30-15:00

1994年以降、熱中症の発症数は増加傾向にあり、地球温暖化による気温上昇により今後も熱中症発症数の増加は止まりそうにありません。また、2019年以降の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、マスク着用による夏季の活動時の熱中症への影響も指摘されています。本講演では、熱中症の現状から今夏の熱中症対策までについて解説します。



2023年度第1学期（4月入学）入学生 ただいま出願受付中！

ご家族やご友人で入学を検討されている方や、放送大学に興味があるという方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

募集学生 教養学部（全科履修生・選科履修生・科目履修生） 大学院（修士選科生・修士科目生）

募集期間 第1回 2022年11月26日（土）～2023年2月28日（火）

第2回 2023年3月1日（水）～2023年3月14日（火）

パンフレットや募集要項は、放送大学ウェブサイトから無料にてご請求いただけます。

お電話でお申込みいただくこともできます。

資料請求先 放送大学「資料請求」 <https://www.ouj.ac.jp/seikyu/>
神奈川学習センター TEL: 045-710-1910

